

## 谷津の森公園

所在地： 富士見市鶴馬1丁目16番地

■公園の種類： 都市公園（都市緑地※）

■公園の規模： 面積 1,271㎡

※都市緑地とは、主として都市の自然的環境の保全並びに改善、都市の景観の向上を図るために設けられている緑地であり、1箇所あたり面積0.1ha以上を標準として配置する。・・・富士見市のホームページでは種類が明記されていない。当コンテンツ作成者が、公園の案内板などから解釈して種類を記載してしますので参考程度の扱いとして下さい。



散歩道の看板  
見当たらず

■市民緑地： 所在地： 富士見市鶴馬1丁目2227番地1外  
面積： 3,979㎡

※市民緑地とは、土地所有者や人工地盤・建築物などの所有者と地方公共団体又は緑地管理機構が契約を締結し、緑地や緑化施設を公開する制度。これにより、地域の人々が利用できる公開された緑地が提供される（都市緑地法第55条）

■緑の散歩道： 所在地： 富士見市鶴馬1丁目2225番地1外  
面積： 1,506㎡

■谷津の森公園は鶴瀬東口から鶴瀬駅東通線を市役所方向に500mほどの所にあり、崖線が中ほどを通過しており上下二段に分かれ、上段は藤棚・東屋・トイレが整備され林になっており（主に公園）、下段は林の奥に湧き水や、砂場などもある独特の森（市民緑地）です。

恒例となっている富士見市民大学の「木と私たち」講座で、「谷津の森」保全活動が行われ、ゴミも少なく雑草も刈り取られて明るくなり、防犯的に良くなっています。

■谷津の森公園・市民緑地の全景



①の位置から桜トンネルとハナミズキ



②の位置から 桜の季節 と 新緑の季節

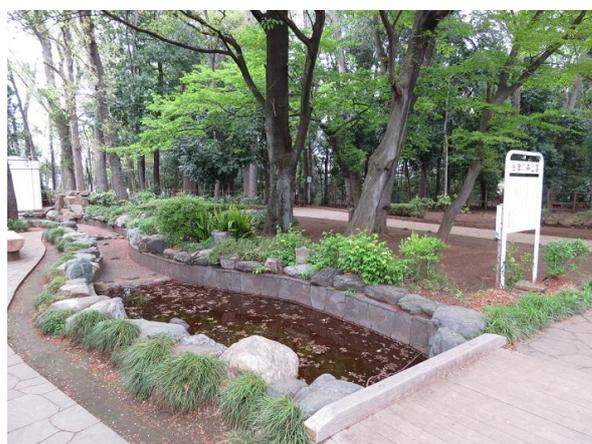


③の位置から



④の位置から

## ■谷津の森公園



## ■市民緑地 谷津の森



台地側の谷津の森公園から市民緑地の入り口に案内板。

ここから崖線を経由して低地側の市民緑地へと続く。

※富士見市民大学の「木と私たち」講座、木印の会が

毎年、「谷津の森保全活動」（公開講座）を2月に行っています。

その活動状況が、富士見市民大学HPの現場レポートで開示されています。



台地⇔低地の崖線の様子



低地側の市民緑地



※豊富な湧水があります。但し、立ち入り禁止領域

記載日：2015/05/01

この内容は、「郷土富士見検定問題集」、富士見市民大学の講座から抜粋し、記載しています。